

システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻（博士前期課程）

必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01CH001	コンピュータサイエンス特別演習		2	2.0	1	通年	随時	3B302, 3B303, 3B402, 3B405	CS専攻担当教員	コンピュータサイエンス専攻の様々な研究分野の概観を得るとともに、自分の研究に関するプレゼンテーションを行う。	必修。詳細は専攻ウェブページに掲載する。
01CH002	コンピュータサイエンス特別研究I		3	4.0	1	通年	随時	3B302, 3B303, 3B402, 3B405	CS専攻担当教員	指導教員の指導のもとで、コンピュータサイエンスの研究テーマに関する基礎的な知識を習得すると共に、そのテーマの研究を行う。また、研究室のセミナーに参加し、研究討論を行う。	必修。
01CH003	コンピュータサイエンス特別研究II		3	6.0	2	通年	随時	3B302, 3B303, 3B402, 3B405	CS専攻担当教員	指導教員の指導のもとで、研究テーマを選択し、そのテーマに関する研究を行うとともに、自らの研究に関するプレゼンテーションを行う。また、研究室のセミナーに参加し、研究討論を行う。	必修。詳細は専攻ウェブページに掲載する。「コンピュータサイエンス特別研究I」(01CH002)を履修した学生に限る。

専攻共通(基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01CH703	技術英語上級		1	1.0	1・2	秋AB	火4	3B302	時國 滋夫, 狩野均	英語4技能(読む、書く、聞く、話す)のレベルを高め、コンピュータサイエンス専攻前期課程修了生としての高い英語力を確立する。具体的には、科学技術関連の英語文書を読む正確に読む、技術系の基本的な英文を書く、短い英文を聞く、プレゼンテーションを行うことを通じて、英語に多く触れ、自分の英語力を確認して課題を見つけ、英語力のさらなる向上をめざす。	2013年度までに開講された「テクニカルライティング(英語)」(01CH702, 01CJ401)、「英語プレゼンテーション」(01CH703, 01CJ402)の単位を修得した者の履修は認めない。01CJ402と同一。
01CH731	インターンシップI		3	1.0	1	通年	随時		滝沢 穂高	企業の工場や研究所等における技術開発、研究開発などの就業経験を通して、専門能力向上と職業意識啓発の機会とする。具体的には、各種情報技術が実務の中でどのように活用されているのかを知り、必要な情報技術・スキルを学ぶとともに、将来の進路についての有益な情報を得ることを目的とする。	CDP
01CH732	インターンシップII		3	1.0	2	通年	随時		滝沢 穂高	企業の工場や研究所等における技術開発、研究開発などの就業経験を通して、専門能力向上と職業意識啓発の機会とする。具体的には、各種情報技術が実務の中でどのように活用されているのかを知り、必要な情報技術・スキルを学ぶとともに、将来の進路についての有益な情報を得ることを目的とする。	「インターンシップI」(01CH731)を履修したものに限り、CDP
01CH738	データ解析特論		1	2.0	1・2	秋AB	木5,6	3B303	亀山 啓輔, 日野英逸, 津川 翔	研究成果の評価を行う上で重要となるデータ解析について、基礎から最新の手法に至る重要なトピックについて論じ、Rをはじめとするツールを用いた演習を行う。	01CJ235と同一。
01CH740	Experiment Design in Computer Sciences		1	2.0	1・2	春AB	火3,4	3B301	櫻井 鉄也, アランニヤ, クラウス	In this course we will study how to design and perform scientific experiments in the context of Computer Science research, with the goal of producing sound Scientific results. Topics include techniques for parameter and experiment selection, and statistical methods for analysis of results.	2013年度までに開設された「計算科学特別講義II」(01CH752)の単位を修得した者の履修は認めない。英語で授業。
01CH747	ICT社会イノベーション特論		1	2.0	2	秋AB	木3,4	3B311	三末和男 他	「ICTを活用してイノベーションを起す人材」を育てることを目指す。産業界から講師を招き、現実の具体的なイノベーション事例を学ぶとともに、グループワークを通して創造的なアイデアを生み出すプロセスを習得する。	定員約30名。高度IT専修プログラムの学生を優先。2012年度までに開設された「高度ITプログラム特別講義IV(ICT社会ビジネス特論)」(01CJ415)の単位を修得したものの履修は認めない。01CJ108と同一。CDP

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CH748	アイデンティティ&ビジョンデザイン	1	1.0	1・2	通年	集中		庄野 和宏, 牧野司, 月野 直美	本講座のテーマは「自分の才能を活かし、自分らしく生きる」である。これからの人生を自立的に生きるためには、「自分は何が好きか」「将来どういうことをしたいか」「自分の人生をどのように生きていきたいか」などについて一度深く考え、「ビジョン」という形にしてみる必要がある。本講座では、講義及び個人ワーク・グループワークを通じ、自分のアイデンティティを見つけ、ビジョンを創り出していく。また、グループワークや講師・ゲストの実体験談を聞くことで、人の多様性も実感できる。これらの演習は、社会に出るに当たって自分が本当に望む道はなにか、社会でどのような役割を果たしたいのかを考える貴重な機会となる。最終日には希望者に模擬面接を実施し、自己表現力向上のための個別アドバイスも行う。	2012年度以前の「アイデンティティ&ビジョンデザインワークシヨップ」の単位を修得したものの履修は認めない。 01CJ416と同一。 CDP
01CH807	インスタラクショナルデザイン	5	1.0	1・2	春C	集中		長谷部 浩二, 亀山啓輔, 駒谷 昇一	専門分野の専門家として必ず必要となる。専門知識を人に伝えていくテクニックの体得を目的とし、教授法、プレゼンテーションに関する講義演習を行う。	CDP

専攻共通(専門科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CH505	大規模計量分析特論	1	1.0	1・2	秋C	集中		工藤 博幸, 水野貴之	Web等に溢れる大規模データの実証分析について講義と演習を行う。Webからの大規模データの抽出方法、高速に処理するC言語のアルゴリズム、現象のメカニズムを抽出する大規模向けの計量手法の習得を目指す。	2013年度までに開講された「大規模計量分析特論」(01CH901)の単位を修得した者の履修は認めない。
01CH745	組込みプログラム開発	4	3.0	1・2	春AB	火5, 6木2	3B311	山際 伸一	モバイル端末に搭載された機能と既存のサーバインフラ、そして、組込みシステムを統合したシステムを、問題提起から解決策の提案、システムの設計・開発までを行える総合力を持った人材を育成する。	実践教育ネットワーク事業関連講義。機材の数以上の履修生数は許容できない。 01CJ020と同一。
01CH746	サービスとデータプライバシー	1	1.0	1・2	春C	集中		佐久間 淳, 高橋克巳	ビッグデータが提供しうる新しい社会のデザインについて学ぶとともに、データプライバシーの様々な問題とその対処を、技術、社会、法律、経済の観点から俯瞰する。	2014年度まで開講された「コンピュータサイエンス特別講義VIII」(01CH711)の単位を修得した者の履修は認めない。春Cに開講。詳細は掲示を参照のこと。 01CJ236と同一。

数理情報工学分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CH101	非線形システム特論	1	2.0	1・2					物理、化学、生体及び数理系にみられるカオス、分岐等の非線形現象を紹介し、反応拡散等の非線形性の発生機構とそれらの解析手法を力学周辺理論と計算科学の側面から講義する。	西暦偶数年度開講。 01CJ214と同一。
01CH102	マルチメディア情報理論特論	1	2.0	1・2					情報通信技術(ICT)の中核技術の1つとして位置付けられるインターネットが破壊していると言われていた。本講義では、まず、それに対応していくための新世代ネットワークアーキテクチャの概念設計とそれを支える現代情報理論がどのように関係するのかを概説する。次に、シャノンの標本化定理を、超関数論を用いて完全に証明し、最後にポスト・シャノンとしてのフルーエンシ情報理論について講述する。	西暦偶数年度開講。 01CF202と同一。 2015年度開講せず。
01CH103	数理アルゴリズム特論	4	2.0	1・2	秋AB	金3, 4	総合B1001	櫻井 鉄也, 多田野寛人, 今倉 暁	科学計算で現れる各種のモデリングとアルゴリズムについて、とくに大規模な線形計算を中心に講義する。	英語で授業。
01CH104	数理メディア情報学特論	4	2.0	1・2	秋AB	月1, 2	総合B1001	北川 高嗣	解析的・数的手法を用いて数理情報、自然科学、情報工学分野における諸問題の定式化・モデリングを行い、そのコンピュータ上での近似的な解の構成法を学ぶことを目的とする。	西暦奇数年度開講。
01CH105	数値シミュレーション特論	1	2.0	1・2	春AB	木5, 6	3B406	コール ジェームス, 蔡 東生	コンピュータアルゴリズムを使い工学、化学、医学、経済学で現れるシミュレーション問題を解く。具体的な項目として、差分法、緩和法、エントロピー最大化法、フラクタル、人工生命を使った物理的現象モデル、カオスの理論とその応用等	英語で授業。
01CH107	基礎計算生物学	1	2.0	1	秋BC	木1, 2	3B301	櫻井 鉄也, 稲垣祐司, 庄司 光男, 牧野 昭二, 佐藤三久	計算生物学についての基礎的な概念と計算手法について学ぶ。	英語で授業。
01CH108	システム制御	1	1.0	1・2	春B	火3, 4	3B311	河辺 徹	不確かさを伴う組み込み制御系の解析方法、設計方法について講義する。	2012年度までに開講された「システム制御」(01CH106, 01CJ207)の単位を修得したものの履修は認めない。 01CJ226と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CH109	システム最適化	1	1.0	1・2	春A	火3,4	3B311	久野 誉人, 佐野 良夫	システム設計や運用時における最適化理論について講義する。	2012年度までに開設された「システム制御」(01CH106, 01CJ207)の単位を修得したものの履修は認めない。01CJ211と同一。

知能ソフトウェア分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CH205	知能感性処理特論	2	2.0	1・2	春AB	火3,4	3B406	大矢 晃久	知能活動に感性が関わる場面における情報処理の方法について、感覚器(センサ)情報からの知識生成、知的行動に至る段階的高次化や、人間的感性に基づく処理、ヒューマンインタフェース等について、ロボット工学分野における最近の研究例を学ぶ。	01CJ216と同一。
01CH206	情報セキュリティ特論	1	2.0	1・2	春AB	月1,2	総合B0110	西出 隆志	情報セキュリティを確立するための基礎技術について学習する。代数学、数論などの基礎事項について知識を習得した後、現代暗号理論を中心に、情報セキュリティシステムの代表的な基本構成要素(公開鍵暗号方式、鍵配送方式、認証方式など)が動作する理論的な根拠について理解を深める。	01CF207と同一。要望があれば英語で授業
01CH209	ヒューマンインタフェース特論I	1	2.0	1・2	春AB	月3,4	3B302	志築 文太郎, 田中 二郎	ヒューマンインタフェースの基礎技術やアプリケーションに関する最近の話題や未来動向に関して学習する。	西暦奇数年度開講。01CJ212と同一。
01CH210	ヒューマンインタフェース特論II	1	2.0	1・2					人間とのインタラクションを前提とした情報システムを利用者視点で設計できる能力の開発を目的として、ヒューマンインタフェースのデザインに必要な知識およびスキルを、講義とグループ演習を交えて学習する。	2012年度までに開講された「情報システムデザイン論」の単位を修得したものの履修は認めない。西暦偶数年度開講。01CJ213と同一。定員30名程度
01CH212	プログラム言語特論	4	1.0	1・2	春AB	火2	3B302	亀山 幸義	関数型プログラミングと型システムに基づいたプログラム言語論の最新の研究について、2-3のトピックに絞って、応用とその技術的・理論的背景について学習する。関数型プログラム言語を用いた演習・レポート作成を行う。	2014年度までに開講された「ソフトウェア論理」(01CH201)の単位を修得した者の履修は認めない。要望があれば英語で授業
01CH213	プログラム理論特論	4	1.0	1・2	秋A	金5,6	3B302	水谷 哲也, 亀山 幸義	Hoare論理による手続き型プログラムの検証、実時間プログラム系の仕様記述および検証などを通じてプログラムの理論的基礎を深く探究する。	2014年度までに開講された「ソフトウェア論理」(01CH201)の単位を修得した者の履修は認めない。
01CH214	推論計算モデル特論	1	1.0	1・2	春C	金1,2	3B302	南出 靖彦	オートマトン、プッシュダウン・オートマトン、チューリング機械、ラムダ計算などの計算モデルについてアドバンスなトピックを話題を絞り講義する。これらの計算モデルのプログラミング言語理論及びソフトウェア検証における役割を議論する。	2014年度までに開講された「推論計算モデル特論」(01CH203)の単位を修得した者の履修は認めない。01CJ228と同一。

ソフトウェアシステム分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CH301	プログラミング環境特論	1	2.0	1・2	秋AB	木5,6	3B301	建部 修見, 佐藤 三久	並列プログラミングやオブジェクト指向プログラミングなど高度な情報処理システムを実現するソフトウェアの開発のための最先端プログラミング言語処理系および開発環境について、論じる。	01CJ205と同一。英語で授業。
01CH302	情報システム評価特論	1	2.0	1・2	秋AB	木1,2	3B304	李 頌	本講義では、情報システムの実測、待ち行列モデル、確率モデル、コンピュータシミュレーション及びそれらの応用技術、情報システムの性能、信頼性及びセキュリティの評価技法などについて講ずる。	
01CH303	並行システム	1	2.0	1・2	秋AB	火5,6	3B303	新城 靖, 追川 修一	並行システムについて紹介し、並行分散アプリケーションの構築に必要なソフトウェア技術について論じる。スレッド、通信ライブラリ、分散共有空間を使った並行プログラムの作成を課題とする。	01CJ217と同一。
01CH304	データ工学特論I	1	2.0	1・2	秋AB	月3,4	総合B0110	北川 博之, 天笠 俊之, 川島 英之	データマイニングを中心とした大規模データを対象とした先端データ工学技術について論じる。まず、基礎となるデータベース技術、情報検索技術について概観した後、データマイニングの主要な手法と関連するトピックを取り上げる。	英語で授業。
01CH305	データ工学特論II	1	2.0	1・2					各種の大規模データを対象とした検索支援や知識獲得を中心とした情報検索手法について論じる。まず基本手法についての概論を示し、続いて、検索支援技法、リンク解析等のWebを対象とした各種の知識獲得技法、および、その周辺の話題を取り上げる。	西暦偶数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CH306	分散システム特論	1	2.0	1・2					LANやインターネット上で分散システム構築を行うための基本概念、設計論、実装技術を概説する。また、クラウドコンピューティングの技術動向についても解説する。	「分散情報システム工学」(02RB213)の単位を修得した者の履修は認めない。西暦偶数年度開講。01CJ210と同一。
01CH307	システムプログラミング特論	1	2.0	1・2	秋AB	月5,6	3B302	前田 敦司, 建部 修見	システムの設計・開発の基礎となるシステムプログラミングについて、実例をあげて講義し、実習を行う。	01CJ218と同一。

計算機工学分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CH402	並列処理アーキテクチャ特論	1	2.0	1・2					並列処理アーキテクチャについて、システムの仕様記述・検証手法及び実現法の両面から講義する。まず、従来の並列処理方式の問題点を明らかにして、その解決法を議論する。また、将来の在り方、動向にも言及する。	西暦偶数年度開講。
01CH404	並列分散システム特論	4	2.0	1・2					並列分散システムにおける情報の授受と共有について論じる。特にクラスタにおける効率よいメッセージ通信やデータ共有に関して、それを支えるアーキテクチャ技術、ネットワーク技術、ソフトウェア技術について解説する。	西暦偶数年度開講。01CJ219と同一。
01CH405	集積システム工学	1	2.0	1・2	春AB	火5,6	3B301	安永 守利, 金澤 健治	集積システムは大規模集積回路(VLSI)を中心に構成され、情報通信機器のハードウェア基盤となっている。本講義では、集積システムの構成・製造から設計・検証までの基礎技術を解説し、さらにその先端応用事例を紹介する。	
01CH406	高性能コンピューティング特論	1	2.0	1・2	秋AB	水2,3	総合 B1001	朴 泰祐, 高橋 大介	大規模数値処理に代表される高性能コンピューティング(HPC)について、ハードウェア及びソフトウェアの両面から捉え概説する。特に並列処理手法に基づくHPCに関する諸技術を、実例を踏まえ取り挙げ論ずる。	英語で授業。
01CH407	コンピュータネットワーク特論	1	2.0	1・2	春AB	木5,6	3B402	木村 成伴	各種情報ネットワークを対象に、これらのシステム構築技術と各種伝送方式について述べる。また、インターネットで典型的に用いられているIPやTCPなどのプロトコルを取り上げ、それらの通信制御技術に触れる。	2009年度以前の「コンピュータネットワーク」の単位を修得したものの履修は認めない。01CJ204と同一。
01CH408	回路工学特論	4	2.0	1・2					アナログ回路、特にフィルタの設計問題を取り扱う。フィルタの伝達関数、与えられた周波数特性から希望する伝達関数を設計する方法、実際に仕様を与えて回路を設計する方法、様々な回路実現方法による得失を取り扱う。	西暦偶数年度開講。01CJ220と同一。

メディア工学分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CH503	CG・インタフェース特論	4	2.0	1・2					Computer Graphicsに関連する立体形状モデリングおよびレンダリング等について、その理論と計算機操作インタフェースに関する具体的な例を挙げて解説する。	2014年度から西暦偶数年度開講。02RB221と同一。2015年度開講せず。
01CH506	Introduction to Computational Neuroscience for Engineers	1	1.0	1・2	春AB	木4	3B302	ルトコフスキ ト マシュ マチエイ	The lecture will introduce neurotechnology and applications connecting directly our brains with machines. Computational neuroscience is an approach to understanding the development and function of our brains. The lecture course will introduce the computational neuroscience basics and the brain-computer interface (BCI) solutions will serve as examples of neurotechnology applications. Basics level computational engineering mathematics and understanding of technical English will be necessary to understand the content of the course.	英語で授業。
01CH507	音声メディア工学特論	1	1.0	1・2	春AB	水2	3B301	牧野 昭二, 山田 武志, 宮部 滋樹	音声・音響メディア処理のための基礎技術・応用技術について概説する。具体的には、音源分離、音声認識、空間音響等について述べる。	2014年度までに開講された「音声メディア工学特論」(01CH502)の単位を修得した者の履修は認めない。01CJ232と同一。
01CH508	信号画像処理特論I	1	1.0	1・2	春A	月5,6	3B302	工藤 博幸	マルチメディアの基礎技術である画像・音声などのメディア情報の符号化(圧縮)と呼ばれる分野について解説する。	2012年度まで開講された「信号画像処理・医用イメージング特論」または2013-2014年度に開講された「信号画像処理特論」(01CH501)の単位を修得した者の履修は認めない。01CJ229と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01CH509	信号画像処理特論II		1	1.0	1・2	春B	月5,6	3B302	鈴木 大三, 工藤 博幸	マルチメディアの技術である高度なフィルタによる画像処理への応用について解説する。	2012年度まで開講された「信号画像処理・医用イメージング特論」または2013-2014年度に開講された「信号画像処理特論」(01CH501)の単位を修得した者の履修は認めない。 01CJ230と同一。
01CH510	信号画像処理特論III		1	1.0	1・2	春C	月5,6	3B302	滝沢 穂高	マルチメディアにおける信号画像処理, 医用イメージングや計算機診断支援などのトピックスに関して, 年度に応じて適当なものを取り上げて解説する。	2012年度まで開講された「信号画像処理・医用イメージング特論」または2013-2014年度に開講された「信号画像処理特論」(01CH501)の単位を修得した者の履修は認めない。 01CJ231と同一。
01CH609	適応的メディア処理		1	1.0	1・2	春AB	月2	3B303	亀山 啓輔	Adaptive techniques in processing, recognition and retrieval of media information will be discussed. (Lecture in English).	01CJ233と同一。 英語で授業。

知能情報工学分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01CH603	自然言語処理特論		1	2.0	1・2	秋AB	火5,6	総合B0110	山本 幹雄	計算機による自然言語処理に関して, 統計的な手法を中心に講義する。具体的には, 自然言語の統計的言語モデルの目的とその数理的基礎およびパラメータ推定法について詳しく述べる。	西暦奇数年度開講。 01CJ223と同一。
01CH605	画像認識特論		4	2.0	1・2	秋AB	火3,4	3B303	福井 和広	3次元物体や状況認識・理解など, 人間の持つ高度で柔軟な視覚情報処理を情報科学的観点から概説したうえで, これらの視覚処理をコンピュータを用いて如何に実現するかについて述べる。	西暦奇数年度開講。 01CJ224と同一。
01CH607	視覚計算特論		1	1.0	1・2	春AB	木3	3B302	酒井 宏	ヒトの視覚が示す高度な知覚・認識に注目して, 生理学・心理学の基礎を交えて, 大脳皮質で行われている計算メカニズムを概説する。	西暦奇数年度開講。 02RB235と同一。
01CH608	進化計算特論		1	2.0	1・2	春AB	金3,4	3B302	狩野 均	進化計算・群知能・人工生命を用いた問題解決方式について解説する。理論の説明だけでなく, 実世界のシステムに応用するという観点から論じる。	
01CH609	適応的メディア処理		1	1.0	1・2	春AB	月2	3B303	亀山 啓輔	Adaptive techniques in processing, recognition and retrieval of media information will be discussed. (Lecture in English).	01CJ233と同一。 英語で授業。

プロジェクト型実践分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	
01CH811	プロジェクト実践ワークショップ		3	2.0	1・2	夏季休業中	随時		嵯峨 智, 渡辺 知恵美, 山際 伸一, 早瀬 康裕, 山口 佳樹	高度なICTを基礎とした諸問題の解決を目指して, 正しく問題設定を行い, その問題解決のための研究開発プロジェクトの自主的な企画・運営を行う。これを通して研究開発プロジェクトの推進能力を育成する。	
01CH812	イニシアティブプロジェクトI		3	2.0	1	秋AB	随時		嵯峨 智, 渡辺 知恵美	高度なICTを基礎とした諸問題の解決を目指して, 正しく問題設定を行い, その問題解決のための研究開発プロジェクトの自主的な企画・運営を行う。これを通して研究開発プロジェクトの推進能力を育成する。	「プロジェクト実践ワークショップ」(01CH811)を同時に履修すること。
01CH813	イニシアティブプロジェクトII		3	2.0	2	秋AB	随時		嵯峨 智, 渡辺 知恵美	高度なICTを基礎とした諸問題の解決を目指して, 正しく問題設定を行い, その問題解決のための研究開発プロジェクトの自主的な企画・運営を行う。これを通して研究開発プロジェクトの推進能力を育成する。	「イニシアティブプロジェクトI」(01CH812)を履修した学生に限る。
01CH902	プロジェクトスタディI		3	2.0	1・2	通年	随時		山田 武志, 佐野 良夫	ICT関連企業との産学連携による共同研究や開発プロジェクトに参画し, システム開発力, コミュニケーション能力等を養成する。	CDP
01CH903	プロジェクトスタディII		3	2.0	1・2	通年	随時		山田 武志, 佐野 良夫	ICT関連企業との産学連携による共同研究や開発プロジェクトに参画し, システム開発力, コミュニケーション能力等を養成する。	「プロジェクトスタディI」(01CH902)を履修した学生に限る。 CDP

特別講義

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CH707	コンピュータサイエンス特別講義IV		1.0	1・2	秋B	集中		安永 守利, 相部 範之	コンピュータサイエンス分野の最近の重要課題について講述する。	
01CH710	コンピュータサイエンス特別講義VII		1	1.0	1・2	春C	集中	河辺 徹, 醒井 雅裕, 山科 亮太	コンピュータサイエンス分野の最近の重要課題について講述する。	
01CH712	コンピュータサイエンス特別講義IX		1	1.0	1・2	秋B	集中	益子 宗, 岩淵 志学, 田中 二郎	コンピュータサイエンス分野の最近の重要課題について講述する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01CH714	コンピュータサイエンス特別講義XI	1	1.0	1・2	春AB	金2	3B303	追川 修一	一般に幅広く用いられているx86のアーキテクチャとそれがソフトウェアに与える影響、ソフトウェア開発ツールを利用したソフトウェア最適化手法、並列処理の概念と手法の理解を目的とした講義を行う。	01CJ414と同一。
01CH751	コンピュータサイエンス英語講義I		1.0	1・2	春C	集中		高橋 大介, アランニャ, クラウス, Fukunaga Alex	計算科学分野の最近の重要課題について講述する。	2013年度までに開講された「計算科学特別講義I」(01CH751)の単位を修得した者は、履修できない。 英語で授業。
01CH753	コンピュータサイエンス英語講義II		1.0	1・2	秋C	集中		高橋 大介, アランニャ, クラウス	計算科学分野の最近の重要課題について講述する。	2013年度までに開講された「計算科学特別講義III」(01CH753)の単位を修得した者は、履修できない。 英語で授業。
01CH754	コンピュータサイエンス英語講義III		1.0	1・2	秋C	集中		高橋 大介, アランニャ, クラウス	計算科学分野の最近の重要課題について講述する。	2013年度までに開講された「計算科学特別講義IV」(01CH754)の単位を修得した者は、履修できない。 英語で授業。